

教材活用シリーズ 第181回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

(株)光文書院
デジタル教材新機能搭載と
夏の新教材登場！



(株)光文書院
EdTech 統括

学ぶことを楽しむ子どもたちで
あふれる未来を目指す

光文書院は、「学ぶことを楽しむ子どもたちであふれる未来を創造すること」をミッションに掲げ、全国の小学生を対象とした教材事業を展開しています。大切にする学力観は、営利目的の受験競争では決してありません。子どもたち一人ひとりの存在全体と向き合い、すべての子どもたちに学びの機会を提供、「子どもたちの心の底から学習意欲が湧き起こるような教材」を開発し、すべての子どもたちに届けることを目指しています。今回は、前回掲載させていただいた『ドリルプラネット』『CBTタワー』のさらにバージョンアップした内容をご紹介します。

1. 子どもが選び、自ら学ぶデジタルドリル
『ドリルプラネット』

「子どもたちが、学ぶことを楽しみ、没頭し夢中になって取り組む力を育む」というビジョンを具現化すべく、「トイ・ストーリー」のキャラクターを採用したデジタルドリル『ドリルプラネット』の開発を2021年に着手し、2023年に全国の小学校へ向けた販売を開始しました。

これまで紙教材を長く発行してきた企業として、両方のよさを活かした新しい学びを創造したいという想いから、紙ドリルに加えデジ



▲夏のカレンダー



▲夏のビンゴ

ルドリルの開発にも力を入れ、「紙とデジタルをつなげる」新しい学びの実現に取り組んでいます。

『ドリルプラネット』では、子ども自身が「きほん」「れんしゅう」「たしかめ」の3段階を選べるようになっており、効果をさらに高めるために、「トイ・ストーリー」のキャラクターを活かし、子どもたちのモチベーションをあげる機能を多数搭載しています。

2025年7月1日には、以下の機能を新しくリリースしました。

◆夏休み期間限定で、夏までの復習ができる「夏までのまとめ」

「夏までのまとめ」単元で、国語・算数の学習内容が復習できます。

夏休み期間中は児童が選んだバディから毎日ひと言がもらえるしかけもあるので、飽きずに学習に取り組めます。また、夏休みの特別ビンゴで、指定された内容に取り組むと、自分だけのアイスタワーが完成します。

◆フラッシュカード

新テーマを7点追加しました。内容は国語、算数、理科、社会、英語、その他合計で25テーマになります。答えを確認しながら進める「かくにんモード」や、カードの順番、めくりかた、速さなど、児童一人ひとりに合わせて設定することが出来ます。

▼お道具箱設定画面



▲お道具箱フラッシュカード

2. 新登場！小単元毎に理解度を確認できるデジタル形成プリント『CBTタワー』

2024年度からは、習熟を目的とした『ドリルプラネット』に加え、評価領域をカバーする新デジタル教材『CBTタワー』の販売を開始しました。

子どもたちの自主学習をメインにして、1問1答で解き進める『ドリルプラネット』に対し、『CBTタワー』は、デジタルならではの良問で、先生たちが子どもたちの学習理解度を見極

め、その結果に基づき学習や授業を改善し、学びの可能性を広げるためのサポートをします。

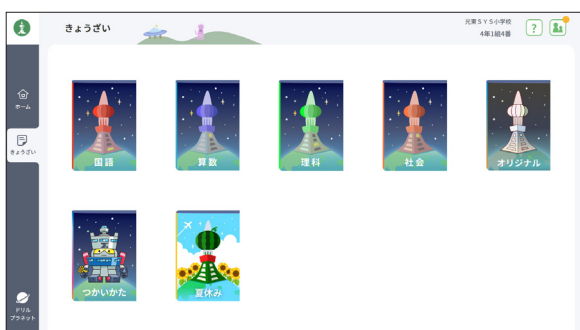
『CBTタワー』は、先生たちの思いとともに、子どもたちの心に寄り添うようデザインされています。子ども視点で問題をたしかめながら、子ども自身でつまづきに気づき、ともに学び、互いを励まし合って学んで欲しいという思いを込めて作成しています。

問題は、小単元毎に3～10問で構成されており、1回5～10分で実施可能。授業の進度に合わせて、スモールステップで理解度を測れるので、これまでプリント指導に忙しかった先生たちの時間にスペースを生みながら、テスト前や授業中の子どもたちの学びの空白時間を埋めていきます。

2025年度版には、以下の機能を新しくリリースしました。

◆学期のまとめ

小単元だけではなく、期末テストのコンテンツを追加しました。「夏休み」のタワーから取り組むことができます。学期毎に学習内容の定着度を測ることができます。



▲CBTタワートップ

3. 新登場！紙もデジタルも！

『かんぺき！デジタル夏休み』

2025年度は新しい夏休みの教材『かんぺき！デジタル夏休み』の販売を開始しました。「夏のえにつき（1・2年）」「夏のワークシート（3～6年）」「夏の一言日記」「読書感想文の書き方」「原稿用紙4枚」「各教科のまとめテスト」といった紙ならではの付録が「まい夏ポケット」という台紙にセットされています。それと合わせて7月1日から9月30日まで3か月の期間限定で『ドリルプラネット』『CBTタワー』がどちらも使えます。紙もデジタルもどちらも使える教材で、毎日楽しく学べるしかが満載です。すでに『ドリルプラネット』または『CBTタワー』をお使いの場合は、「まい夏ポケット」だけの販売もしています。



▲まい夏ポケット表紙

おわりに

光文書院のデジタル教材『ドリルプラネット』『CBTタワー』は、今までもこれからも、子どもたちが学びを通して、自らの物語を紡いでいけるよう、先生や子どもたちと関わりながら、未来へ向けて進化を続けていきます。